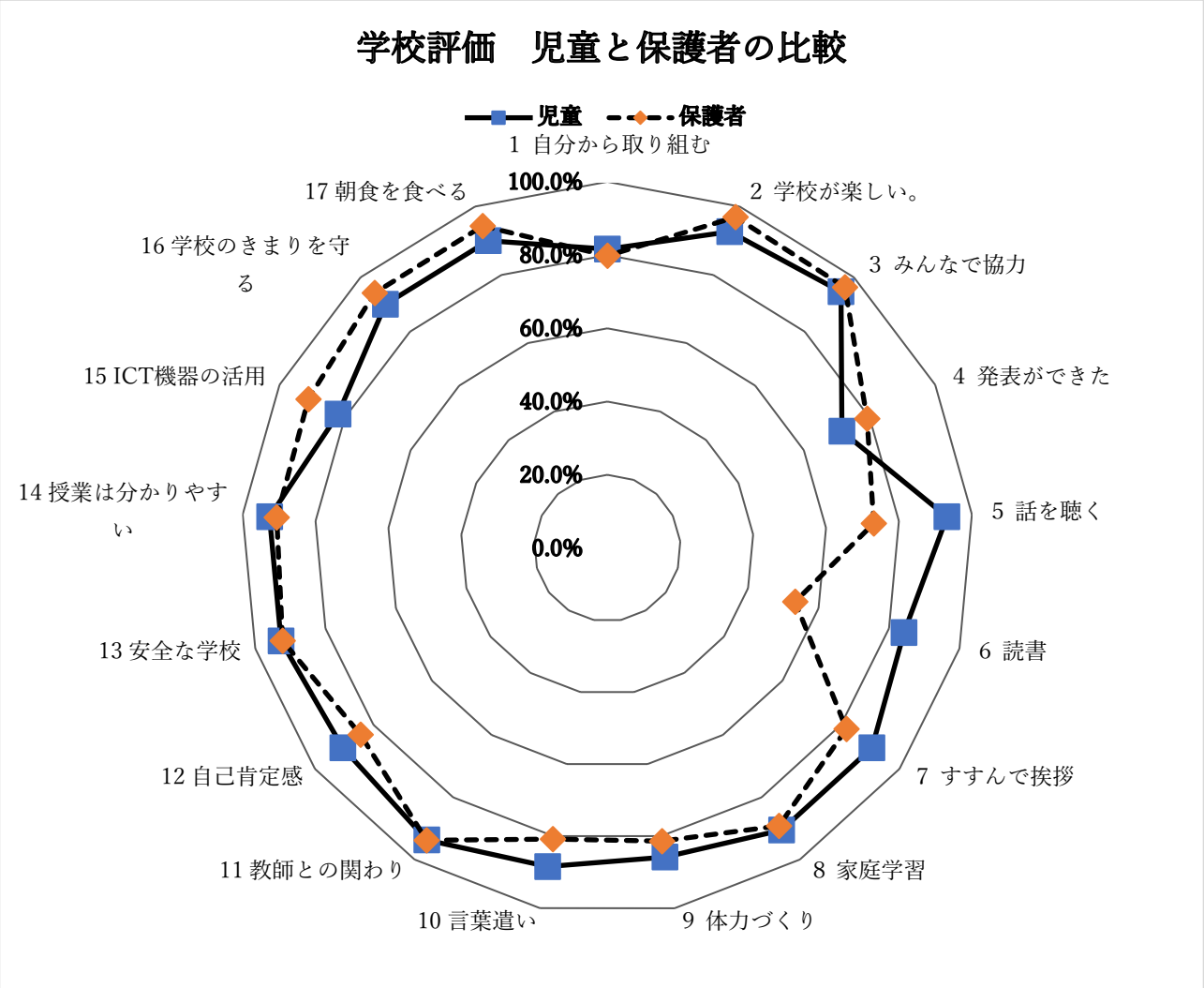
富士市立神戸小学校
学校だより臨時号
令和３年 11 月１日

燃える神戸っ子

学校教育目標
「じぶんから」
令和３年度重点目標
「あいさついっぱい　やさしさいっぱい」

前期学校評価アンケートの結果の報告

前期学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。保護者の皆様からたくさんのご意見や、私たち教職員への励ましのお言葉をいただきました。皆様の思いをしっかり心に刻み、今後の教育活動をさらに充実させていきたいと思います。なお、後期も同様のアンケートを行います。ご協力をよろしくお願いいたします。



上のグラフは、前期の学校評価アンケートで、「そう思う」「だいたいそう思う」の数値を合計したものです。実線は児童、点線は保護者を表しています。このグラフの設問項目 2,3,11,12,14 などからは、90%以上の児童・保護者が、それぞれの学年に応じた活動を行い、子供たちは楽しく学校生活を送れていると感じていることが分かります。一方、項目 1,4 などは、他の項目に比べて低くなっており、主体性や自己表現に課題があると感じていることが分かります。

児童の評価では、「3 みんなで協力」「5 話を聞く」「14 授業が分かりやすい」の項目が高い数値を示しています。これらの結果から３密回避のために集会やグループ活動が大きく制約されているは中ではありますが、子供たちが友達とのつながりの大切さを感じていることが分かります。一方、自己表現の１つである「４ 発表ができた」では、自分の考えを言葉で表現することについて約２割の児童が満足していないという結果が出ています。今後も子供たちがより「言いたい！」と思える授業や活動を工夫していきたいと思います。

今年度から子供たちの主体性を伸ばすために、学校教育委目標を「じぶんから」とし、様々な働きかけをして主体的に活動することができるようにしてきましたが、まだまだ不十分なことが分かります。後期は主体的に活動する場を設定するなど、更に工夫をしていきたいと思います。

「６ 読書」については、３密を回避するために図書室の利用時間に制限があったり、読み聞かせを中止したりと制約がある中でしたが、それでも子供たちの読書の意識は高くなっています。後期も図書委員会や学校司書の活動をとおして、引き続き読書を推奨していきたいと思います。

「15 ICT 機器の活用」の数値をみると、ICT 機器を用いた授業が浸透してきたことが分かります。現在、社会のあらゆる場所で ICT の活用が日常的なものとなっています。３年生以上に、１人１台の端末が整備され、授業の中での活用が始まっています。分散登校中には、リモートで朝の会を行ったり、授業に参加したりと有効な活用ができました。機器の使用を手段として、目的にならないように留意していきたいと思います。

【２　学校の数値目標から　】

児童の評価 項目	できている	まあできている	合計	グランドデザイン目標値
学校生活が楽しい	76.3%	16.3%	92.6%	90%
みんなで協力	79.5%	15.3%	94.7%	90%
すすんで挨拶	69.5%	21.1%	90.5%	90%
きまりを守る	64.5%	22.1%	86.6%	85%
意見を発表	34.2%	37.4%	71.6%	70%
話しを聞く	62.1%	31.1%	93.2%	90%
読書を楽しむ	48.4%	35.8%	84.2%	80%
家庭学習をする	60.5%	30%	90.5%	85%
授業は分かりやすい	63.7%	28.9%	92.6%	90%
目標を持って頑張る	64.7%	21.1%	85.8%	85%

どの項目も、学校の数値目標を上回っています。ご家庭や地域の皆様のご協力のおかげだと思います。

素直で優しい神戸地区の子供たちの挨拶をさらに伸ばしていくために、児童会を中心に「あいさつマウンテン」を行っています。朝からお互いに挨拶を交わす声が聞こえる一方で、「地域の方への挨拶があまりできない」との声も聞かれます。また、始業、終業時の挨拶など「礼儀」としての挨拶そして、「ありがとう」「ごめんなさい」「失礼します」などの挨拶も大切です。「あいさつは心をつなぐ　まほうの　じゅもん」です朝だけでなく、いろいろな場面で、場に応じた挨拶ができるようになってほしいと思います。

また、「目標を持って頑張る」の運動面では、３密を避けるための集団活動に制限があり、体育の授業等体を動かす機会が減っており、子供たちの体力の低下を感じます。体育の授業だけでなく、校内行事や休み時間の遊びなどの機会を生かして子供たちの体力の向上に取り組んでいきたいと思います。

【3　保護者の皆様の意見から（抜粋）　】

学校生活

・少人数だから争い事も少なく、先生との距離感も近い所が良いなぁと思います。

・いつも優しく見守ってくれてありがとうございます。たくさん誉めたり、励ましてくれるおかげで子供は元気に楽しく学校に行けていると思います。これからもよろしくお願いします。

・朝、正門に立っている先生が子どもたちに声を掛けているのを見かけました。「おはよう」「大きい挨拶いいね」「今日元気ないね。どうしたの？」コミュニケーションを取ろうとしていてとても良いと思いました。これからも続けて頂けたらと思います。

アンケート結果の全体をみても、ほとんどの項目で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると 80%を越えていることから、子供たちが、学校生活に満足していることがうかがえます。しかし、何らかの不満を抱えている子供もいると思います。1 人 1 人に寄り添い、安心して生活できる学校づくりに励んでいきたいと思います。

子供や教師の関わり

・入学したばかりのころは、学校へ行くのが大変でしたが、先生の温かい指導で楽しく行けるようになってきました。ありがとうございます。

・神戸小の子供たちはとても素直だと思います。これからたくさんの事を知り、経験し、得るためには素直なことはとても大切だと思います。素直のままでいられるように子供の話をよく聴き、考えを尊重してほしいです。

・子供からしても親からしても先生が親しみやすくて話しやすいと、学校生活で安心して、お互いに信頼して学校に行きやすいと思います。これからもよろしくお願いします。

・いじめ、仲間はずれ等は、子供の心に深い傷を残し性格などに悪い影響を与えてしまいます。明るく活発だった子が、暗い性格になってしまうなど、その子の人生が 180°変わってしまうかもしれません。なので、いじめ仲間外れ等が確認できた時は徹底的に調査し、解決してもらいたいです。

年に 3 回「いじめアンケート」を行い、個別に教育相談を行っています。アンケートだけでなく、子供の日常生活の様子から、気付いたところなども話題にしています。これからもより一層信頼関係を深めていけるよう、子供たち、一人一人の言動の背景に思いを馳せ、寄りそう支援を心掛けていきます。

学習について

・我が家は一人っ子のせいか、家庭学習を競うようにやるだとか、帰ってきたらすぐやるということがなく苦労します。神戸ノートも自主性になったのか、いつの間にかやらなくなり・・・。なので、上手にノートをまとめている子や頑張って学習している子のノートを紹介するようなプリント物を数か月に１回とかでいいのでやってもらえると嬉しいです。（無記名、匿名で可）親としても参考になりますし、載った本人も嬉しいでしょうし、自分の子供にも「頑張ったら、お知らせに載るよ」という励まし方のできるので・・。検討よろしくお願いします。
・中学生に向けて、学習の仕方など指導してほしい。

子供たちがより分かる授業ができるように、教師も研鑽をしていきたいと思います。また、よい子供の現れを大切にして、全体に広めることができるように工夫をしていきたいと思います。
また、もう一度、「家庭学習のしかた」を基にして、学習のしかたを確認していきます。

子供の様子から

・朝の旗振り当番のときに、元気よく挨拶を返してくれる子が少ない。自分から挨拶したり、もう少し元気良く挨拶してくれるといいなと思いました。
・放課後にグラウンドで遊べる日を作っていただけると、いろんなお友達と遊べるようになると思います。近所に公園もなく、さんどまきまで行かなければならず、目が行き届きません。
・自然と親しむことが大切だと思います。最近の子供は休みの日に外で遊んでいることが少ない気がします。
・学校外での活動を増やしてほしいです。（他学校との交流や、スポーツの体験など）

コロナ禍の中、子供たちの生活もいろいろと制限されてきました。感染状況を注視しながら、拡大予防対策をしっかりとして、子供たちにとって有意義な活動を工夫していきたいと思います。

その他

・全体的に子供たちは素直で落ち着いている印象があります。以前依頼があった小中一貫の移行に関するアンケートに関して回答した内容がどのように反映されるのか分かりにくいと感じました。

アンケートは、集計したものを吉原北中校区で持ち寄り、「めざす子供増」を決めるのに役立てます。

たくさんの貴重なご意見をありがとうございました。
いただいたご意見を参考にし、後期も教職員一同、子供たちが「じぶんから」学び、よりよい学校生活を送ることができるよう、精一杯支援してまいります。今後も、ご協力よろしくお願いいたします。